



● 10月から幼児教育・保育の無償化がスタート

3歳児クラスから5歳児クラスの子ども及び市民税非課税世帯の0歳児クラスから2歳児クラスの子どもを対象に幼児教育・保育の無償化が10月から始まりました。



詳細

3歳 〜 5歳	幼稚園 子育て支援新制度 対象	利用料が無償	預かり保育 保育の必要性 (※)の認定を 受けている場 合、利用日数 に応じて、月 額1.13万円ま で無償
	幼稚園 子育て支援新制度 非対象	利用料が月額2.57万円まで無償	
	認定こども園	利用料が無償	
	保育所	利用料が無償	
	認可外保育施設等	保育の必要性の認定を受けている場合、利用料が月額3.7万円まで無償	

(※)「保育の必要性」：保護者が就労(64時間以上/月)、育児休業中、求職活動中(3カ月間)、疾病・障害、出産前後、就学、介護・看護のいずれかに該当する場合。

● 鎌倉市は市制80周年を迎えました

1939年(昭和14年)11月3日、鎌倉町と腰越町が合併して鎌倉市が誕生しました。その後、1948年(昭和23年)1月1日に深沢村、6月1日に大船町を編入し、現在の市域が形づくられ、今年、80周年を迎えました。

80年という歴史が受け継がれてきたことに感謝し、これからもお互いを思いやり支え合っていき、自分たちのまちの事をオール鎌倉で考え、守り創っていく。みんなで創る鎌倉を目指して取り組んでまいります。



クリーン&ガーデニング大作戦

毎月第3土曜日の7時30分～8時30分
腰越駅集合(雨天中止)



腰越駅周辺・腰越海岸の清掃と雑草の手入れを行います。終了後、意見交換会も行っております。お時間の許す限り、お気軽にご参加ください。

☆スケジュール☆

- 第80回: 11月16日
- 第81回: 12月21日
- 第82回: 1月18日
- 第83回: 2月15日

;

鎌倉市議会議員

ひなた慎吾



活動レポート



1983年6月9日 生まれ (36歳)

モンタナ幼稚園→腰越小学校

→腰越中学校→鎌倉高校→日本大学卒業

IT企業へ就職後、2013年29歳で鎌倉市議会議員初当選。

2017年2期目の当選。腰越在住。

〈現在〉観光厚生常任委員会委員長・議会広報委員会委員

● 台風15号・19号の影響により被害を受けられた皆様へ

9月に発生した台風15号および10月に発生した台風19号による被害に遭われた地域・世帯の皆様へ心よりお見舞い申し上げます。被害に遭われた皆様の安全と被災地域の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

台風の襲来を受け、市議会は鎌倉市議会災害対策会議を設置しました。私も会議で報告を受けた災害関連情報を発信し、また地域の見回りや市民の皆様から頂いた被災状況を会議に伝えました。大規模災害等が発生した際、市民の安心安全を確保し、平穏な日常生活を回復させるため、市災害対策本部と協力、連携を図りながら、適切かつ迅速に対応してまいります。

住所：鎌倉市腰越 3-23-7 連絡先：0467-32-5889

ホームページ：<http://www.hinata-kamakura.com/>

ブログ：<https://hinata-shingo.amebaownd.com/>

メール：hinata.shingo@gmail.com フェイスブック：日向慎吾

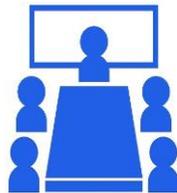
ツイッター：@HinataShingo インスタグラム：hinata.shingo



討議資料

●一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会

会派を代表して今年も審査をいたしました。審査の過程において各委員から多岐にわたる意見が述べられましたが、委員長報告に盛り込んだ全会一致となった意見を抜粋して記載いたします。



委員長報告

◆市民への情報発信について

公共施設再編計画の進行管理については、計画の市民への周知に課題があると考えられ、また同計画に位置づけられている施設は、市民生活に密接していることから、計画の実施に当たっては、その利用者や地元住民の混乱を招かないよう、丁寧な説明を求めました。

◆児童虐待防止の取り組みについて

児童虐待を未然に防止し、児童の生命と安全を確保するためには、一つ一つの事例を過小評価することなく、事案の終結が明確になるような対応を求めるもので、また担当職員に過重な負担がかからないように働く環境を整え、チームとして未然防止対策に取り組むことを求めました。

◆ごみ処理体制について

新焼却施設を整備しないといった、将来のごみ処理体制についての方針を表明したものの、二市一町での広域連携によるごみ処理計画も、技術的に裏づけされたごみ処理方策も不透明な中、将来的にはごみの焼却を行わないことだけが先行している方針では、安定したごみ処理ができる確証は持てず、市民生活の不安は払拭できないと思われます。よって、今後のごみ処理体制については、いまだ課題は残りますが、市は将来にわたる安定したごみ処理体制を構築することを求めました。

また、決算審査中に様々な意見を申し上げましたが、取り分け以下の点につきましては、会派として特に意見を付しました。

会派意見

◆高齢者の支援サービスについて

高齢者支援の中で入浴助成を行っていますが、地域によって利用率に差があります。同事業の重要性は認識しておりますが、入浴助成に限らず、交通機関利用時の助成に使うことができるなど、メニューを増やし利用者自らがサービスを選択できる支援を求めました。



会派意見

◆救急活動事業について

救命率の向上を図るため、公共施設等にAEDを設置し取り組んでいただいておりますが、円滑に活用されるためにも設置場所がどこで、どのように設置されているのかを周知し、さらに設置場所を拡大することで、救急体制のより一層の充実を求めました。



◆個人番号カードについて

個人番号カードによる住民票と印鑑証明書のコンビニ交付を実施されていますが、まだまだ窓口交付の件数が多くなっています。個人番号カードの交付率は平成30年度で18.7%と県下で1位とのことですが、個人番号カードの利便性を高めるための取組を引き続き行い、市民サービスの向上と事務の効率化につなげていくよう求めました。



◆避難対策推進事業について

津波避難路面シートについては、市内180カ所の保守点検を行い、迅速な避難誘導に取り組んでおりますが、交換等の必要があった際には蓄光型へ変えるなど夜の避難対策強化と、年齢・国の違いを越えた情報手段として有効なピストグラムでの案内表記を積極的に取り組み、誰もが理解が容易な情報提供のさらなる充実を求めました。



●ごみ処理広域化実施計画策定 年内厳しいとの報告

観光厚生常任委員会において、「鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化実施計画（たたき台）」の説明があり、実施計画について、年内に素案の公表までのスケジュールとの報告を受けました。これまで、2市1町の合意事項として年内に素案ではなく実施計画策定を目標に取り組んできており、議会に対してもそのように説明されてきました。

そのため、委員長として内容精査のため休憩を取り、各委員のご意見や協議をした結果、「行政だけの計画でなく、2市1町の方々ときちんと話し合い、合意を得られたものをしっかりと年内まで出すように」と申し上げました。部長からは、たたき台を素案に高めるために協議を続けているところで、2市1町の周辺住民の方々のご理解をいただくなど課題があり、慎重かつ丁寧に時間をかけて進める必要もあるが、年内に素案を公表できるように精一杯努力するとのことご答弁をいただきました。